

みんなで作ろう「ひっとプラン港北」

～第3期港北区地域福祉保健計画～

区民の皆さんが主役です 「ひろがる」「つながる」「とどく」

ひっとプラン港北は、「誰もが安心して暮らせるまち港北」を目指し、区民の皆さんとさまざまな団体、区役所などが協力して地域課題を解決し、身近な地域の支えあいの仕組みづくりを進めていく計画です。これから始まる第3期計画の策定にあたり、住みよい地域づくりのために、「こうなったらいいな」を皆さんで考えてみませんか。

「ひっとプラン港北」推進の柱

ひろがる

住民主体のひろがる
地域づくり

つながる

つながりと参加の
仕掛けづくり

とどく

支援がとどく
仕組みづくり

より多くの区民の参加を得、住民主体と協働によって地域づくりを進めていきます。

さまざまな主体による魅力ある活動の推進によって、地域の活性化と住民の健やかな暮らしをめざします。

必要とする人に的確に支援が届く仕組みと、身近な地域で見守り支え合う地域づくりを進めます。

どんな計画なの？

計画期間は28年度～32年度の5年間です。区全域に共通する課題の解決に取り組む「区全体計画」と、地域ごとの課題の解決に取り組む「地区別計画」でできています。「地区別計画」は連合町内会を単位とする区内13地区ごとに、地域の皆さんで策定します。

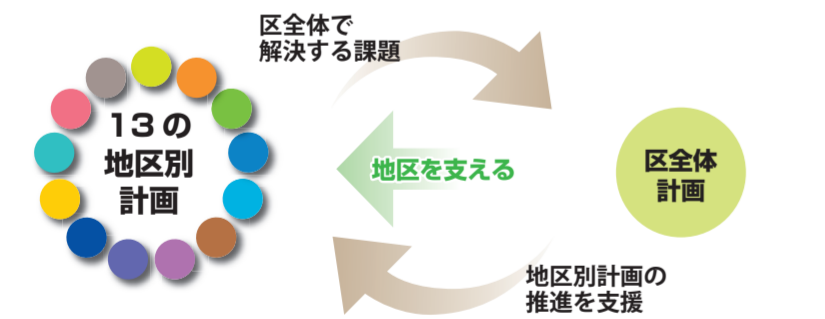
第3期計画策定の流れ

より良い地域をつくるために、皆さんの意見をお聞かせください。計画策定の進行状況や意見の募集については、本紙や区ホームページなどでお知らせします。ホームページは [ひっとプラン](#) で [検索](#)

計画ができるまで

- 4月～秋頃
 - 地区別計画・区全体計画の策定がスタート
 - 参加方法1** 地区の計画づくりに参加しよう
地区ごとに意見交換して、計画をつくります。計画づくりの集まりに参加したり、アンケートに協力するなど、あなたの意見を反映させましょう。
 - 地区別計画・区全体計画の素案のとりまとめ
 - パブリックコメント実施
 - 参加方法2** 素案に対する意見を出そう
区民の皆さんから意見を募集します。区ホームページで募集するほか、説明会も開催します。
 - 計画策定・公表
 - 第3期計画スタート
- 12月
- 28年1月
- 3月
- 4月

現計画の27年度版地区別計画を、7月頃に配布しますのでご覧ください。



地区別計画のエリア

- ① 日吉地区
- ② 綱島地区
- ③ 大菅根地区
- ④ 樽町地区
- ⑤ 菊名地区
- ⑥ 師岡地区
- ⑦ 大倉山地区
- ⑧ 篠原地区
- ⑨ 城郷地区
- ⑩ 新羽地区
- ⑪ 新吉田地区
- ⑫ 新吉田あすなろ地区
- ⑬ 高田地区

「ひっとプラン港北」って？

港北区の地域福祉保健計画の愛称です。2月に開催した「計画策定推進委員会」で、現計画の愛称と計画推進の柱を継続することが決まりました。



10年後…

データから推測する未来の港北

港北区ってどんなまち？ 10年後はどうなっているんだろう？

人口は

H27 339,503人 → H37 361,791人 (約1.1倍)

子ども(15歳未満) 減る 約0.9倍
生産年齢人口(15歳～64歳) 増える 約1.1倍
高齢者(65歳以上) 増える 約1.2倍

15歳未満 15歳～64歳 65歳以上

H27 H37

横浜市統計ポータルサイト・政策局将来人口推計より抜粋

港北区は生産年齢人口が多いのが特徴です。人口も増えますが、特に高齢者が増えることが見込まれています。

高齢者の暮らしは

高齢の単身者・夫婦のみ世帯数

H26 28,500世帯 → H37 32,500世帯 (増える 約1.2倍)

要介護認定者数

H26 10,900人 → H37 16,200人 (増える 約1.5倍)

平成26年度の実績値から推計

現在、高齢者の6人に1人が介護を必要としていますが、10年後には4人に1人になる見込みです。

ご近所付きあいは

近所の人にあいさつなど声をかけることがある

H20 → H24

あまりない まったくない
よくある たまにある

近所に身の回りの困ったことを相談できる人がいる

H20 → H24

いる どちらかというところ
いない どちらかというところ

平成20年・24年港北区区民意識調査より抜粋
ご近所に住んでいる人とのつながりも薄くなっています。10年後は？…

高齢化が進み、家族の規模が小さくなる中で、「安心して暮らせるまち港北」を実現するためには、区民の皆さんがつながり、支え合う仕組みをつくるのが大切です。

私のまちの「こうなったらいいな」を活動につなげます

ひっとプラン港北は、あなたのまちの身近な活動につながっています。あなたのまちの「こうなったらいいな」を実現しましょう。

みんなが元気で幸せだといいね。どうしたらいいのかな

例えば **みんなでまちの福祉を考えよう**

小学生を対象に「まちの福祉」を考える講座を開催しました。みんなが幸せになるために、「人とのつながり」や「居場所」、「社会での役割」が自分自身やまち全体の幸せにつながることを、子どもたちが考えています。(城郷地区)

講座の様子

住み慣れたまちで、いつまでも健康に暮らしたい

例えば **ウォーキングで交流しながら健康づくり**

ウォーキングサポーターは、区民の健康づくりを目指して、区内各地区でウォーキングイベントを開催しています。運動習慣のきっかけや一緒に楽しむ仲間づくりに、あなたも参加してみませんか。(保健活動推進員)

活動の様子

子育て中の人を応援したいけど、何ができるかしら

例えば **子育てに優しいまちをつくらう**

子育て支援者のグループがネットワークをつくり、地域の遊び場やサロン、相談会やイベント情報を紹介する「日吉キッズステーション」を発行しています。ママやパパが楽しく子育てできるよう応援しています。(子育てネットワーク/日吉地区)

日吉キッズステーション(右)

障害のある方をみんなで見守りたい

例えば **障害児の居場所づくり**

障害のある子どもたちと一緒に、遊びやおやつ作りをする放課後余暇支援をしています。活動を通じて、子どもたちと地域とのつながりができ、日常的に声をかけたり、困っているときに助けたりできる関係づくりをしています。(とも・とも篠原/篠原地区)

ボランティアの皆さん

近所の通学路がもっときれいで明るいといいのに

例えば **まちを明るく楽しくしよう**

小学校の通学路に薄暗い線路の高架下があります。地域のみんなで話し合い、行政にも協力してもらい、対策を考えています。プランターを設置して花を植えたり、壁に絵を描くなど、歩く人が楽しい気持ちになるような工夫を検討しています。(新羽地区)

みんなで話し合ってみることで、住民同士のつながりも広がっています。

大竹町内会 松村会長

お住まいの地域の計画づくりに関心のある方は、問合せ先へ気軽にご連絡ください。

- 問合せ 区役所事業企画担当 ☎540-2360 ☎540-2368
- ☎ko-fukuhoplan@city.yokohama.jp
- 港北区社会福祉協議会 ☎547-2324 ☎531-9561
- ☎hokuhoku@kouhoku-shakyo.jp